

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】特開 2004-65861 (P2004-65861A)
 【公開日】平成 16 年 3 月 4 日 (2004.3.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-009
 【出願番号】特願 2002-233240 (P2002-233240)
 【国際特許分類第 7 版】
 A 6 3 F 7/02
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 8 月 22 日 (2005.8.22)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技の進行に応じて又は遊技状態の変化に応じて音声を出し、パート増減条件が成立すると、前記出力する楽器等のパートを増減変化させる遊技機において、
前記パート増減条件は図柄の表示状態に対応して複数設定されており、
図柄の変動開始と共に前記音声の出力を開始し、前記図柄の表示状態が変化すると前記出力する楽器等のパートを増減変化させ、
前記図柄が当たり図柄で確定表示されたときは前記音声の出力を停止し、
大当たり遊技の開始と共に全パートが出力された状態で音声を出し、
 ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 記載の遊技機において、
予め設定された特別状態中になると、該特別状態の開始と共に前記音声の出力を開始してこれを継続し、図柄の変動開始と共に前記出力する楽器等のパートを増減変化させ、また前記図柄の表示状態が変化すると前記出力する楽器等のパートを増減変化させる
 ことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 2 記載の遊技機において、
前記特別状態の開始と共に曲の音声出力を開始してこれを継続し、
前記図柄の変動開始及び該変動開始と共に行われる前記楽器等のパートの増減変化を前記曲の次のフレーズの開始まで遅延させて該フレーズの開始に同期させる
 ことを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

請求項 1、2 又は 3 記載の遊技機において、
 同じ曲であるが前記楽器等のパートの組合わせが異なる複数のバージョンを持つ曲があり、予め設定されている切替条件に従って前記複数のバージョンを切替えて出力することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段および発明の効果】

請求項 1 記載の遊技機は、

遊技の進行に応じて又は遊技状態の変化に応じて音声を出力し、パート増減条件が成立すると、前記出力する楽器等のパートを増減変化させる遊技機において、

前記パート増減条件は図柄の表示状態に対応して複数設定されており、

図柄の変動開始と共に前記音声の出力を開始し、前記図柄の表示状態が変化すると前記出力する楽器等のパートを増減変化させ、

前記図柄が当たり図柄で確定表示されたときは前記音声の出力を停止し、

大当たり遊技の開始と共に全パートが出力された状態で音声を出力する

ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

パート増減条件は、音声出力のパートを増加したり減少させたりする条件として設定されていればよいのであるが、パート増減条件を図柄の表示状態に対応して設定することで、例えば図柄変動に際して、変動開始時はドラム音のみ、リーチになるとベース音を加え、スーパーリーチになるとギター音を加え、さらに大当たり表示になるとヴォーカル音を加える、というような演出が可能になる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

図柄の変動開始と共に音声の出力を開始して図柄の表示状態が変化すると出力する楽器等のパートを増減変化させるから、図柄の表示状態の変化に応じて、BGM等の音声徐徐に完成された状態で出力されたり、逆にパート数を減らしたりすることで、パート数の増減と共に遊技の興趣を向上していくことができる。

また、パートの増減（パート音の消音や発音）のタイミングにより、リーチや大当たりの予告、告知等を行うこともできる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

なお、周知の曲を各パートに分割して使用することにより、遊技者に曲の完成度など報知が好適に行うことができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

請求項 2 記載の遊技機は、請求項 1 記載の遊技機において、予め設定された特別状態中になると、該特別状態の開始と共に前記音声の出力を開始してこれを継続し、図柄の変動開始と共に前記出力する楽器等のパートを増減変化させ、また前記図柄の表示状態が変化すると前記出力する楽器等のパートを増減変化させることを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

特別状態としては、例えば高確率状態、時短中、複数の表示モードを持つ場合のどれか 1 モード中等が例示されるが、これらに限るわけではない。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

特別状態の開始と共に音声の出力を開始してこれを継続することで、特別状態（例えば高確率中）と通常状態の違いを明確に報知することができる。

請求項 3 記載の遊技機は、請求項 2 記載の遊技機において、前記特別状態の開始と共に曲の音声出力を開始してこれを継続し、前記図柄の変動開始及び該変動開始と共に行われる前記楽器等のパートの増減変化を前記曲の次のフレーズの開始まで遅延させて該フレーズの開始に同期させるので、図柄の変動開始に伴うパートの増減変化のタイミングがフレーズの開始（切り替わり）になり、スムーズに音が重奏されて遊技者の耳にも心地よく入っていき、遊技者に耳障りで違和感、不快感を与えるおそれがない。

請求項 4 記載の遊技機は、請求項 1、2 又は 3 記載の遊技機において、前記音声出力される曲の中には同じ曲であるが前記楽器等のパートの組み合わせが異なる複数のバージョンを持つ曲があり、予め設定されている切替条件に従って前記複数のバージョンを切替えて出力することを特徴とする。